

工事一時中止に関する間接工事費等諸経費動向調査 (令和2年度竣工工事対象)

③発注者用工事一時中止入力マニュアル

Ver20.02

本調査は、契約上の工事一時中止があった場合を対象としています。
契約上の工事一時中止が無かった場合は対象外です。

調査票提出先及び提出期限

- 1) 元請担当者 → 発注事務所等担当者
(工事引き渡し日までに発注事務所等担当者へ提出及び
調査票配布サイト (RepoBox) よりアップロードにて提出)
- 2) 発注事務所等担当者
(工事完成日から30日以内に調査票配布サイト (RepoBox)
よりアップロードにて提出。なお、本サイトは令和3年3月
31日まで運用を予定しています。それ以降は、発注担当事務
所等で保管し、後日、提出となる予定です。)

注) 繰越等により令和2年度に完了しなかった工事についても、調査は継続となりますので、
本調査票(令和2年度竣工工事対象)により提出してください。

本調査は、公共土木請負工事における諸経費率について、実態調査に基づく検討を行う目的で実施するものです。この調査票に記入された内容を他に漏らすことや、他の目的に使用することは決してありませんので、事実をありのままに記入していただくようお願いいたします。

調査票を受領後、調査担当機関より記載事項について聞き取り調査を行うことがあります。その際、根拠となった契約書等の提示を求めることがありますので、ご協力のほどお願いいたします。

また、調査票は令和4年3月末頃迄保管していただくようお願いいたします。

<調査票入力に関する問合せ先>

一般財団法人 国土技術研究センター
技術・調達政策グループ

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-12-1 (ニッセイ虎ノ門ビル9階)

TEL 03-4519-5004

FAX 03-4519-5015

※問合せは、平日(祝日を除く月曜日～金曜日)の午前9時30分から12時、午後1時から
午後6時の間をお願いします。

国 土 交 通 省

目 次

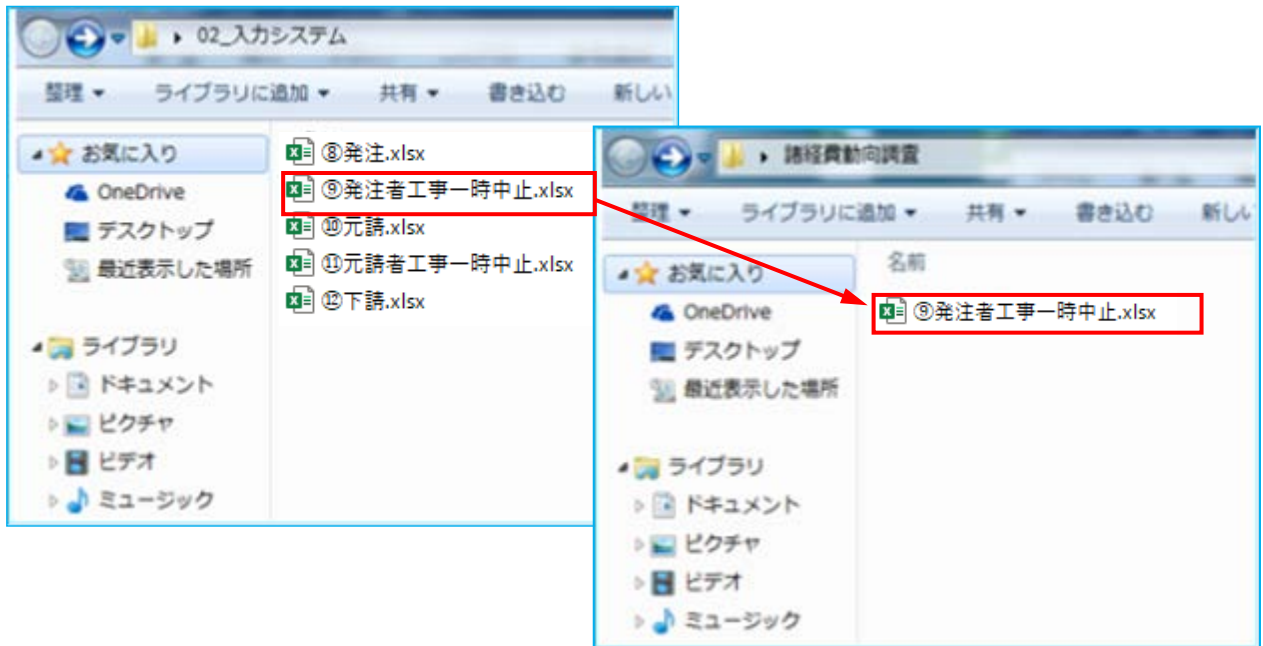
1 入力システム使用上の注意	2
1-1 入力システムの事前準備.....	2
1-2 計算方法.....	3
1-2-1 「計算方法」の設定.....	3
2 入力方法及び入力項目の内容.....	5
2-1 「開始画面」シート.....	5
2-2 「工事情報」シート.....	6
2-2-1 入力例（工事情報シート）	6
2-2-2 入力項目（工事情報シート）	6
2-3 「一般事項」シート.....	7
2-3-1 入力例（一般事項シート）	7
2-3-2 入力項目（一般事項シート）	7
2-4 「発注1」シート	8
2-4-1 入力例（発注1シート）	8
2-4-2 入力項目（発注1シート）	8
2-5 「発注2」シート	9
2-5-1 入力例（発注2シート）	9
2-5-2 入力項目（発注2シート）	10

1 入力システム使用上の注意

1-1 入力システムの事前準備

パソコンのハードディスクに調査票配布サイトよりファイルをダウンロードし、使用してください。

作成するフォルダの場所及びフォルダ名は任意で構いません。



ハードディスク内のマイドキュメントに「諸経費動向調査」フォルダを作成し、入力システム（⑨発注者工事一時中止.xlsx）をコピーしたイメージです。

1-2 計算方法

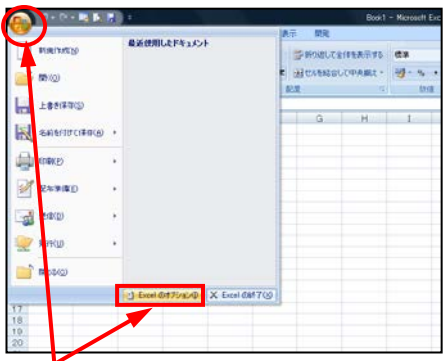
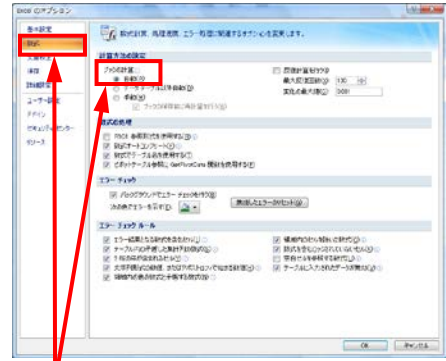
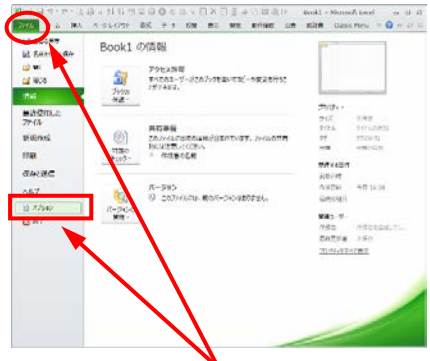
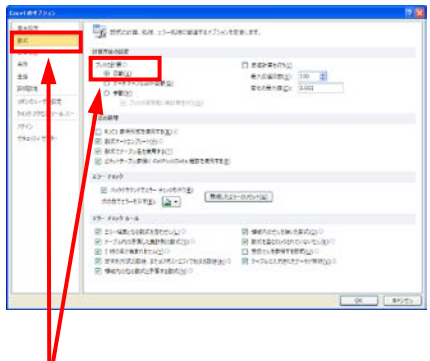
入力システムを操作する前に、以下の設定を必ず行ってください。

※使用する Excel のバージョンにより、設定方法が違います。

使用するパソコンの Excel バージョンを確認して、設定を行ってください。

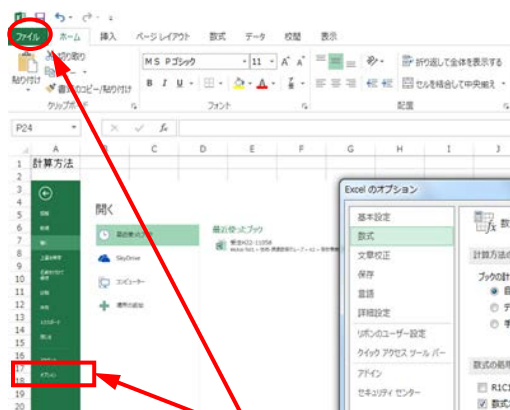
Excel バージョンは、「ヘルプ」メニューの『バージョン情報』を選択すると確認できます。

1-2-1 「計算方法」の設定

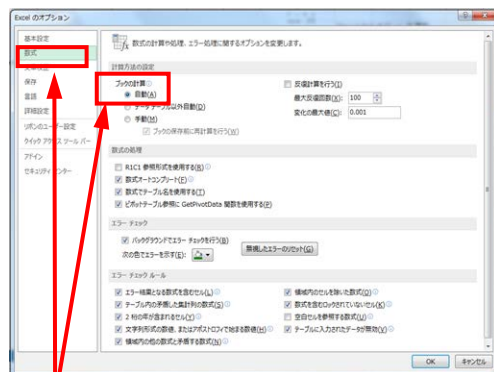
Excel 2007 の場合	Excel 2010 の場合
<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「Office ボタン」から「Excel のオプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>	<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「ファイル」から「オプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>

Excel 2013 以降の場合

① 計算方法を『自動』にする



「ファイル」から「オプション」を選択



「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択

2 入力方法及び入力項目の内容

入力システムの入力方法及び各入力シートの入力項目の内容について説明します。

2-1 「開始画面」シート

入力を進めていく上での簡単な注意事項が書かれています。
入力するシートではありません。

2-2 「工事情報」シート

工事名、請負業者名、工事請負金額等を入力します。

以下の入力例を参考に、入力項目の内容を確認して入力してください。

2-2-1 入力例（工事情報シート）

工事情報		
整理番号		12345
工事名		〇〇〇〇工事
所管名(1)	2	2:国土交通省(港湾)
所管名(2)	102	102:関東地方整備局
フリガナ		●●ケンセツ(カブ)
請負業者名		●●建設(株)
最終工事請負金額(消費税込)		471,450 (単位千円)

2-2-2 入力項目（工事情報シート）

項 目	内 容
整理番号	調査対象工事の整理番号を入力してください。
工事名	調査対象工事の工事名称を入力してください。
所管名 (1)	予め設定されています。
所管名 (2)	調査対象工事の発注機関（地方整備局等）を選択リストから選択してください。 注）該当するものが無い場合は、『その他：999』を選択してください。
請負業者名	請負契約の受注者名を入力してください。 フリガナを忘れずに振ってください。
最終工事請負金額 (消費税込)	最終契約時の 工事請負金額（消費税込） を入力してください。

2-3 「一般事項」シート

発注者側記入者、地域特性、工種、施工場所等について入力します。

以下の入力例を参考に、入力項目の内容を確認して入力してください。

2-3-1 入力例（一般事項シート）

一般事項			
I 発注者側記入者			
メールアドレス	123-456@abc.de.jp		
氏名	発注 太郎		
役職名	工務係長		
事務所名	〇〇事務所		
TEL	012-345-6789	(例1234-1111-2222)	
FAX	012-345-6780	(例1234-1111-3333)	
II 一般事項			
発注年度		令和2年度	
地域特性コード	1	1: 国際戦略港湾・国際拠点港湾	
工種コード	311	311: 港湾構造物工事	
施工場所コード	4	4: 上記以外の工事場所（但し、空港制限区域内工事は除く）	
工事名	〇〇〇〇工事		

2-3-2 入力項目（一般事項シート）

項 目	内 容
I 発注者側記入者	
メールアドレス	入力担当者のメールアドレスを入力してください。
氏名	入力担当者の氏名を入力してください。
役職名	入力担当者の役職名を入力してください。
事務所名	入力担当者の事務所名を入力してください。
TEL	入力担当者の勤務先電話番号を入力してください。
FAX	入力担当者の勤務先 FAX 番号を入力してください。 FAX 番号が無い場合は、『なし』と入力してください。
II 一般事項	
発注年度	工事発注年度を入力してください。
地域特性コード	該当する地域特性を選択してください。 注）積算上での共通仮設費率の施工地域・工事場所の補正に準じてください。
工種コード	積算上で共通仮設費の率計算に用いた工種区分を選択してください。
施工場所コード	該当する施工場所を選択してください。

2-4 「発注1」シート

契約上の工事一時中止とした中止期間、中止原因及び中止命令内容について入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

2-4-1 入力例（発注1シート）

（発注者担当で記入 1/2）

工事一時中止に関する設計変更額算出調査（積算値）

※) 部分中止があった場合のみ入力 全面中止の場合は入力不要
部分中止による工期延期がない場合は0を入力
工期延期日数は元請と一致するように入力してください

①中止期間	回数	中止日数	※) 部分中止に伴う 工期延期日数	全面・部分中止の例
第1回	和暦 令和2 年 9 月 1 日 ~ 和暦 令和2 年 9 月 30 日	30	30	1. 全面 2. 部分 2
第2回	和暦 年 月 日 ~ 和暦 年 月 日			1. 全面 2. 部分
第3回	和暦 年 月 日 ~ 和暦 年 月 日			1. 全面 2. 部分
第4回	和暦 年 月 日 ~ 和暦 年 月 日			1. 全面 2. 部分
第5回	和暦 年 月 日 ~ 和暦 年 月 日			1. 全面 2. 部分
第6回	和暦 年 月 日 ~ 和暦 年 月 日			1. 全面 2. 部分
合計		30	30	

②中止原因	選択項目
	1. 地元との協議 <input type="radio"/>
	2. 警察等との協議 <input type="checkbox"/>
	3. 官公庁等との協議 <input type="checkbox"/>
	4. 地下埋設物等の処理 <input type="checkbox"/>
	5. 予測できなかった地質等の変化 <input type="checkbox"/>
	6. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため <input type="checkbox"/>
	7. その他 <input type="checkbox"/> (具体的な中止原因を入力)

③中止命令内容
用地買収が完了するまで、工事の一部一時中止をする。

2-4-2 入力項目（発注1シート）

項 目	内 容
①延長期間	延長期間、延長日数及び部分延長に伴う工期延期日数を入力してください。 工期延期日数は元請と一致するように入力してください。 また、延長の種類（全面・部分中止）を選択してください。
②延長原因	工期の延長の原因を下記の7項目から選択してください。 1. 地元との協議 2. 警察等との協議 3. 官公庁等との協議 4. 地下埋設物等の処理 5. 予測できなかった地質等の変化 6. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため 7. その他 注）『7. その他』を選択した場合は、具体的な中止原因を入力してください。
③延長命令内容	具体的な『延長命令内容』を入力してください。

2-5 「発注2」シート

工事における工期の延長による増加費用を、工事費（最終積算金額）内訳の費目別に入力します。

注）合計額は、別添『間接工事費等諸経費動向調査票（発注者用）入力システム（⑧発注.xlsx）』内の『工事費』シートの**最終積算金額と一致することを確認**してください。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

2-5-1 入力例（発注2シート）

（発注者担当で記入 2/2）				
工事一時中止に関する設計変更額算出調書（積算値）				
（単位：千円）				
区 分	A. 一時中止増分を除く 積算額	B. 一時中止増分	合計(A+B) 最終積算額	備考
費目内訳				
① 直接工事費	320,759 千円	0 千円	320,759 千円	積上げ項目
(1) 材料費	153,740 千円	0 千円	153,740 千円	
(2) 支給材料費	0 千円	0 千円	0 千円	※直接工事費には含まない
(3) 労務費	71,610 千円	0 千円	71,610 千円	
(4) 機械器具等損料	94,557 千円	0 千円	94,557 千円	
(5) 無償貸付機械等評価額	0 千円	0 千円	0 千円	※直接工事費には含まない
(6) 市場単価	0 千円	0 千円	0 千円	
(7) その他	852 千円	0 千円	852 千円	
1) 処分費〔(7)その他のうち、処分費〕	153 千円	0 千円	153 千円	
② 間接工事費	94,048 千円	887 千円	94,935 千円	
(1) 共通仮設費	39,056 千円	0 千円	39,056 千円	
1) 共通仮設費(積上げ分)	12,072 千円	0 千円	12,072 千円	
イ 運搬費	1,302 千円	0 千円	1,302 千円	
ロ 準備費	0 千円	0 千円	0 千円	
A 準備費	0 千円	0 千円	0 千円	
B 処分費	0 千円	0 千円	0 千円	
C 3次元起工測量	0 千円	0 千円	0 千円	
ハ 事業損失防止施設費	1,786 千円	0 千円	1,786 千円	積上げ項目
ニ 安全費	1,576 千円	0 千円	1,576 千円	
A 交通誘導警備員A	0 千円	0 千円	0 千円	
B 交通誘導警備員B	1,576 千円	0 千円	1,576 千円	
C 安全監視船	0 千円	0 千円	0 千円	
D 防護管設置費用	0 千円	0 千円	0 千円	
E 安全帯(フルハーネス型)のみ	0 千円	0 千円	0 千円	
ホ 役務費	4,909 千円	0 千円	4,909 千円	
ヘ 技術管理費	205 千円	0 千円	205 千円	
A 3次元出来形測量	0 千円	0 千円	0 千円	
ト 営繕費	2,294 千円	0 千円	2,294 千円	
A 快適トイレ費用「ト 営繕費」のうち、快適トイレ費用	0 千円	0 千円	0 千円	
チ その他	0 千円	0 千円	0 千円	
2) 共通仮設費の率分	20,934 千円	0 千円	20,934 千円	
3) 現場環境改善費の率分	6,000 千円	0 千円	6,000 千円	
4) 現場環境改善費の積上分	0 千円	0 千円	0 千円	
5) 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用	50 千円	0 千円	50 千円	
(2) 補償費	0 千円	0 千円	0 千円	
(3) 現場管理費	54,992 千円	887 千円	55,879 千円	率項目
うち、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用	0 千円	0 千円	0 千円	
(4) 機器間接費	0 千円	0 千円	0 千円	
1) 技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)	0 千円	0 千円	0 千円	
2) 機器管理費 (電気通信設備工事の場合)	0 千円	0 千円	0 千円	
③ 一般管理費等	40,400 千円	0 千円	40,400 千円	
④ 鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)	0 千円	0 千円	0 千円	
⑤ 別途調査等工事価格	0 千円	0 千円	0 千円	
⑥ 工事価格	455,207 千円	887 千円	456,094 千円	
* 共通仮設費積算対象金額	322,565 千円	0 千円	322,565 千円	

2-5-2 入力項目（発注2シート）

項 目	内 容
A. 工期延長増分を除く積算額	工期延長による増加費用等を除いた積算額を入力してください。
B. 工期延長増分	工期延長による増加費用等を入力してください。 注）工期延長による増加費用等を適用しない場合は、『0』を入力してください。
合計（A+B）最終積算額	上記の「A 及び B」の合計が自動算出されます。 注）合計額が、最終積算金額と一致することを確認してください。
<積上げ項目> 積上げ計上する項目は、直接工事費（仮設工含む）及び事業損失防止施設費における材料費、労務費、水道光熱電力等料金、機械経費で現場維持等に要する費用であり、下記の内容とする。	
1. 直接工事費に計上された材料（期間要素を考慮した材料）及び仮設費に計上された仮設材等の中止期間中に係る損料額及び補修費用。	
2. 直接工事費（仮設工含む）及び事業損失防止施設費における項目で現場維持等に要する費用。	
<率で計上する項目> 工期延長に伴い増加する費用の内、現場経費で算定する内容は下記のとおりとする。	
1. 運搬費の増加費用	現場搬入済みの建設機械の工事現場外への搬出又は工事現場への再搬入に要する費用及び大型機械類等の現場内小運搬。
2. 安全費の増加費用	工事現場の維持に要する費用。（保安施設、保安要員の費用及び火薬庫、火工品庫の保安管理に要する費用）
3. 役務費の増加費用	仮設工に係る土地の借り上げ等に要する費用、電力及び用水等の基本料金。
4. 営繕費の増加費用	現場事務所、労働者宿舎、監督員詰所及び火薬庫等の営繕損料に要する費用。
5. 現場管理費の増加費用	現場維持のために現場へ常駐する社員等従業員給料手当及び労務管理費等に要する費用。